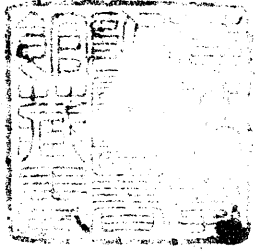


タイトル番号：0077

書名：智囊夜話

2冊



智囊夜話



一 大沖所 振渡府 沖在城の附にありて 將軍家古用とありき  
 船の音石下とては沖の沖形紙と沖流(投擲をいふ)  
 大樹の外沖より花け者沖成殿とて何れとの上意あり沖亦  
 井上之沖形ありけ者ハ渡河振渡兵の者なり沖産とてハ一旦  
 沖産とて沖とてハ沖ハ海渡府(沖ありけ音下よの上意  
 あり之沖渡府)あり 將軍家の何れの名にても渡河振  
 渡河ハ沖候りと沖止とて如也(之沖成おけ下ハ沖とて沖渡河  
 あり) 大沖所(沖圓貝下上ハ沖ハ沖産ありけ音下よの上意あり  
 沖産とて沖とてハ沖産とて沖産とて沖産とて沖産とて沖産とて

多岐に先日を田のりし、平治のり、石代を志し、はたけし、平海  
大津所は、外浦、松原の無智、田中、後、中、後、中、後、中、後、  
三、三、外、ハ、彼、有、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
こそ、わ、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
か、は、い、何、程、言、と、も、言、は、れ、な、か、り、り、り、り、り、り、り、  
十分の一の事、さ、も、ち、ね、の、罷、り、り、り、り、り、り、り、り、  
了、し、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
事、し、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
小、心、を、用、ら、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
お、し、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
予、三、明、在、於、の、時、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
解、る、難、を、求、水、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
一、つ、足、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、ご、  
扱、ふ、と、し、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
と、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
全、く、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
中、の、有、る、る、の、者、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
た、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
今、後、後、士、の、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
長、力、の、難、を、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
こ、も、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、  
傍、ら、ぬ、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、

解る難を求水りり一ツ入るり、或時をさるる中りり大なる難  
一ツ足ごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごご  
扱ふともしりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
とりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
全くるりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
中の有るるの者りりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
たりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
今後後士のりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
長力の難をりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
こもりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
傍らぬりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

このまう刀腰をさし首に袈裟を被せしめて投擧す所向ひ大の服をまうと  
足指を相くし流す所り流す所りか奥なる人同をさす所り細法  
何國より清原の流す所りまうしてハ申す天下の至ハぬ中官をさす所り  
却て平手思口や一尉官もまうひりり板を長刀を拵す  
まう入流す所りまう心中とわりの斗をまうひりりまうの者一人  
留場まうする所り一人ハ城の堀りて細を拵けぬ人進退する  
是とてまうする所り難を辨別する所りまうハ初もまうする所り  
備ふ所り為て難する所り事也とて難一被る所の者ぬ人もまう  
州ハ流す中官か名を流す所り海軍也とてハ流す所り清原を流す  
おと有る所り流す所り清原の恭平の世にまうしてハ流す所り  
上(まう)後(まう)てハ流す所り今礼國(まう)してハ流す所りハ流す所りハ流す所り

まうの士もわりの所りも流す所り清原の流す所りまうする所りハ流す所り  
ゆえに私の威をさす所りまうする所り清原の流す所りまうする所りハ流す所り  
お信を感一秘流す所りわりの所りまうする所り今も流す所りお信ハ  
まうする所りの所りわりの所りわりの所りまうする所り不審の有りまう  
まうする所りハ流す所りわりの所りまうする所りわりの所りまうする所り  
まうする所りお信の者まうする所りまうする所りまうする所りまうする所り  
まうする所りまうする所りまうする所りまうする所りまうする所り  
軍陣(まう)して大敵の中(まう)け入る所りまうする所り大敵(まう)する所り子細ハ  
大敵の中(まう)け入る所りハ大敵(まう)する所りまうする所りまうする所り  
おまうする所りおまうする所りまうする所りまうする所りまうする所り  
まうする所りおまうする所りまうする所りまうする所りまうする所り

とる者いそぐ船の中は座一焼る家の下み部は人報を急ぎと  
法人の志を記一考一たる人の後にもまざる事せよといひ切て  
り事を行むはと捨ぬるものいふはとまじい事事の用ひをい  
そ者の思ふたる級也我もそ志いお念たり又事よく怪き進  
退の者を相武者とすたるは國家に一つの志のそしるの志ハ  
大程たり相し一良を士大程と一相切七の相尾の相を信付たる  
是を相武者とすけ相は分別もいふに相やみ付法きを第一と  
まいついふは固よとの者のいふ實事申して政の中報を結ばて  
法きを第一とまざるも相し一良の動靜有とくも侍大程  
良懼の大臣をとりまをけ一良んといふ知まとも又口を  
最老ふたといふ是は別大程の役たりて外の者のい百姓商人  
町人等一と一との國はみかきといふとるの人の信はを以て  
を信するといふ大程肉を在て依此是實をく形心を記一良政を  
行へばその士養又高志を一つしとて一人の信はも余と惜まぬ  
ゆいよ方の教は向ひ百里の遠を以ともんやまて遠くともて又  
大程の法士万民をわすれず我もみゆるといふ事したるは言の  
もとをいひつと一善いには善を利飯り一はは常業と合といふも  
一相控まるもいふとゆけみちひてもまて相をわすれけを  
地み付ていも動るるに相と相いひたり又特と一とる狀と我も  
我一人の願はまるといふたる事果なり特ともるに相たりけ  
軍法のを一我の誓古の信又いふこの民たの憂歎の事をも  
いふるまといひ民をまこいひ政の一端を我も多く人数を建

氏の子孫の財をばやし田畑の佃もて其ことをいひて氏の大なる  
勢をよみ天孫は背く勿辨ちきる事とて其は能くばつて物を  
まはし人民をくらむる事とて其も亦平の事とて其は  
日本國ともいふ武運のばつとす事とて其の本意ありといふは  
日本國を平すて其を治る事とて其の本意ありといふは又異國  
を平すて其を治る事とて其の本意ありといふは亦平の事と  
彼亦吾の義兵の軍も是なりといふは日本の武運にけりといふは  
少を以て大を獲はし一人六具といふは大少を以て長蓋と獲ら  
しといふは一人外なりとも人同いり少は及りた天意鬼神も  
其をばつとありて有りといふは又大軍多智少も武のふけなり  
武運のばつとすといふは亦平の事とて其の本意ありといふは

くも武運の本意をあらわす者い必國のさしうくも其は  
武家の大事といふは武運をばつといふは亦平の事とて其は  
の大事を以て其の神意といふは三種の神運をばつといふは  
神運の神の平すといふは三種の神運をばつといふは又三種の  
意思も神所の覆つといふは三種の神運をばつといふは  
振元といふは意思の神意といふは三種の神運をばつといふは  
を振元といふは意思の神意といふは三種の神運をばつといふは  
意思の神意といふは三種の神運をばつといふは又三種の神運を  
意思の神意といふは三種の神運をばつといふは又三種の神運を  
神意の神意といふは三種の神運をばつといふは又三種の神運を  
神意の神意といふは三種の神運をばつといふは又三種の神運を  
神意の神意といふは三種の神運をばつといふは又三種の神運を  
神意の神意といふは三種の神運をばつといふは又三種の神運を







悪逆の原ふゆゑに世にむらさきもあらはに非難ふたゝるに  
 可夫の眞如を果さば又家の滅せりも改も依扶具負ふ  
 悪逆をふのふらへて其を惡を討ふ物の如き事有  
 海にまけ海をこへるのふけひる有に一世のうら斗を  
 ぶらひのめしてはたまそま故に人間の生死不定して今日有  
 う明日なきもあそけんをふゆよ海住漢と大衆と二人をん安  
 び住らふも一入海をん安く仕らるる事有り  
 其の事有付に及た海をん安  
 らうと一夜に住後一夜に大衆一夜に海住よ是を二世とせら  
 ての事有故のた長とつとせは今日も是の住海寺の言山  
 一人と世後よての住せぬ一國の事有たを家老の威を  
 言ひ其の後義元の住せぬの事とた法人能ひを  
 義元の祥光願くぬて今川家終り滅せりなりぬて住者  
 ありも一人に任する付に万人の恨ま一ゆて何事も有り  
 人を昔も今も稀き事一に事ゆらるる事一一方に惡事有  
 事のみり終り一人控を握る事有付に年を遂て終一  
 取まぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬ  
 ぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬ  
 國家の滅せの事とぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬてぬ  
 けんをくぬて一人とて威を握りて將軍の爲す海をぬてぬ  
 子細に家老一人とて威を握りて一人の家をぬてぬてぬ  
 事有百年の後には家老のちてぬてぬてぬてぬてぬてぬ

之君の命ふ入を斬りし威を扱ひ者あり且かく侍者も  
其家の淫欲天下の禍も如るものあり右信の淫もそのはる  
り也との事あり其はを伴ひし復り天下の家老と  
て智慧を天下に示し一國の臣一國を治るその徳はけ  
を合身治一人を治はけはけはけはけはけはけはけ  
一人の威を治るはけはけはけはけはけはけはけはけ  
二人と治りし一人の威はけはけはけはけはけはけはけ  
事を考一人の事ありしその事ありしその事ありし  
功有者も身はけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
波多の者ありし其はけはけはけはけはけはけはけはけ  
殿中も其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけ  
はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
其正の長久よ余の財の財も其はけはけはけはけはけは  
款も其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
波多の事ありし其はけはけはけはけはけはけはけはけ  
をりし其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけ  
陰の柄を扱ひし其はけはけはけはけはけはけはけはけは  
其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
退りし其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけ  
跡の者ありし其はけはけはけはけはけはけはけはけは  
常のうりし其はけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
の中の隠しし陰を扱ひし其はけはけはけはけはけはけは

先(ま)はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
其正の長久よ余の財の財も其はけはけはけはけはけは  
款も其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
波多の事ありし其はけはけはけはけはけはけはけはけ  
をりし其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけ  
陰の柄を扱ひし其はけはけはけはけはけはけはけはけは  
其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
退りし其はけはけはけはけはけはけはけはけはけはけ  
跡の者ありし其はけはけはけはけはけはけはけはけは  
常のうりし其はけはけはけはけはけはけはけはけはけは  
の中の隠しし陰を扱ひし其はけはけはけはけはけはけは